

当院は、精神障害、重症心身障害を対象とする  
精神科専門医療機関です  
我々は、地域との調和を元に、生命の尊厳と人権を守り  
患者様の視点に立った良質な医療の提供に努めます



### 診療機能

精神科救急（奈良県の応急入院指定病院）  
結核等合併症（近畿地方唯一の結核合併精神科患者受入施設）  
高齢期精神障害及び認知症  
重症心身障害（入所及び在宅支援）  
医療観察法による指定入院医療  
精神科デイケア及び社会復帰活動の支援  
精神科訪問看護（コアラ訪問看護ステーション）

J R 大和路線（関西線）大和小泉駅下車  
（大阪から40分・天王寺から27分・奈良から10分）  
近鉄郡山駅行バス（奈良交通）にて松尾寺口下車すぐ

### アクセス

近鉄 橿原線 近鉄郡山駅下車  
（大阪難波から45分・近鉄奈良から20分）  
小泉駅東口行バス（奈良交通）にて松尾寺口下車すぐ

車 西名阪自動車道 法隆寺インターより約15分  
第二阪奈道路 中町インターより約15分

独立行政法人国立病院機構 **やまと精神医療センター**

☎639-1042 奈良県大和郡山市小泉町2815番地 TEL：0743-52-3081

<https://yamato-hosp.go.jp/>



わたしたちは  
人間への愛、人間尊重を基盤に  
常に患者さまの視点に立ち  
科学的かつ主体性のある  
看護を目指します



独立行政法人国立病院機構

**やまと精神医療センター 看護部**



# やまと精神医療センターの看護

## 精神科看護

患者さんの思いを引き出し、分かち合い、模索し、信頼関係を築くため、コミュニケーションに多くの時間をかけます。



患者さんの全体像を把握し看護実践するために5つの視点を大切にしています。

- 視点 1 : 患者さんの暮らしを理解する視点
- 視点 2 : 患者さんの症状や徴候を理解する視点
- 視点 3 : 患者さんの心理を理解する視点
- 視点 4 : 患者さんの人物像を理解する視点
- 視点 5 : 薬物療法を理解する視点

認知症の中核症状から感じている不安や混乱、つらさを感じとり、安心できる関わりからなじみの関係をつくり、認知症の周辺症状（BPSD）の軽減、穏やかな笑顔で過ごせるよう『カンフォータブルケア』の実践に努めています

## 認知症看護

### カンフォータブルケアの基本的な技術

- 常に笑顔で対応する
- 常に敬語を使う
- 相手と目線を合わせる
- 相手に優しく触れる
- 相手をほめる
- こちらから謝る態度をみせる
- 不快なことは素早く終わらせる
- 演じる要素をもつ
- 気持ちに余裕をもつ
- 相手に関心を向ける



## 重症心身障がい児（者）看護

自分の思いを上手く表現できない患者様の言葉や表情、ボディランゲージを『観て、聴いて、理解しようとする姿勢』で関わることを大切にしています。



「動く重心」といわれる、重度の知的障害に加え、著しい行動障害を伴う患者さんに、応用行動分析（ABC分析）を用い、個々の行動の背景にあるニーズを捉えじっくりと関わり、個々の育ちを支えます。多職種でカンファレンスを行い、個々の「YAMATOファイル」を作成し、情報共有し個別に応じた環境調整や関りを行っています。

## 医療観察法病棟の看護

ノーマライゼーションの観点もふまえた入院対象者の社会復帰の早期実現を目指し多職種チームによる医療を行っています。医療観察法における医療では、治療の方向性は多職種で決め、対象者も参加をします。



## 訪問看護



「こんな風に地域で暮らしていきたい」という思いに寄り添い、安心して自宅や地域で暮らしていくためのお手伝いをします。

## 精神科デイケア

在宅療養を送る精神障害の方が、調理や農園芸などの個々に応じたプログラムに参加し活動することで、主体的な生活能力の獲得、社会参加の促進を支援します。

## 通所事業 通園ほほえみ

強い行動障害を抱えている方が通園しています。個々の成長発達に合わせて、運動、創作、音楽などの療養活動を行っています。

## 入職時からキャリア形成を支援します

能力開発プログラムによるラダー教育

精神科看護の専門性を高める研修

院内独自の頼人認定看護師制度

包括的暴力防止プログラム研修の開催

国立病院機構主催研修

新採用看護職員の継続したキャリア支援を可能としたキャリアラダー  
精神看護研修 基礎・専門コース 重心看護研修 基礎・専門コース等  
その領域の看護を牽引する職員の育成  
精神・重心看護分野において『専門的な知識』『熟練した技術』を有する看護師を評価し認定する制度

暴力を未然に防ぎ、安全なケア環境を実現するための包括的な暴力防止プログラム研修の開催

虐待防止研修、認知症ケア研修、強度行動障害医療研修等への受講

## 先輩ナースからのメッセージ

### 認知症看護認定看護師

皆さん精神科と聞いてどんなイメージを持っていますか？怖いイメージを持っている方もいるかもしれません。しかし、精神疾患があるという目線だけでなく、一人の患者さんであるという視点に切り替えてみてください。そうすることでイメージが変わるかもしれません。私は患者さんがその人らしく生活できるように患者さんや家族を含めた多角的な視点でケアを行えるように取り組んでいます。精神看護は、患者に応じた関りが大切であるといわれており、十人十色の看護があります。一度成功しても、次の日、また次の瞬間から同じ対応が正解ではなく失敗に終わることも日常茶飯事です。精神疾患を抱える人、そのご家族の不安や混乱、苦痛を少しでも緩和できるように、これまで生きてこられた生活史を尊重したその人らしいケアを実践できるように、多職種と一緒に取り組んでいます。



### 実習指導者

精神科は、他の科と比べて入院日数が長いので、だからこそ、一人ひとりの患者さんとじっくりかかわることができます。看護師とのコミュニケーションがそのまま治療につながっていることを実感する場面も多く、とてもやりがいを感じています。さらに、患者さんとの日々のかかわりの中から自分自身を見つめ直すことができることも魅力の1つだと思います。また当院では、音楽経験のある看護職員が集まって「やまと音楽隊」を結成し、病棟や外来でコンサートを開いています。季節の移ろいを感じてもらえるように、また患者さんがリフレッシュしてもらえよう活動しています。



### CVPPPインストラクター

患者さんと関わる際、包括的暴力防止プログラム(CVPPP)の理念であるパーソンセンタードを常に意識しています。患者さんもスタッフも、ともに同じ「人」としてお互いに尊重され守られるべき存在であり、援助者は苦しんでいる当事者の味方になれるような関わりを目指します。当事者の味方になる事により、お互い(全ての人)の安全・安心に繋がります。

### ワークライフバランスについて

私は次女が誕生した際、1年間の育児休業を取得しました。国立病院機構は福利厚生が充実している為、仕事と家庭を両立する事ができ、毎日充実した生活を送る事ができています。このような「やまと精神医療センター」で皆さんも一緒に働きませんか。



### <1日の流れ(日勤)>

6:00	起床	洗濯
6:30	子供起床、登園準備	
7:00	朝食、朝食片付け	
7:30	出勤	
8:30	日勤始業	
12:00	昼食	
17:15	日勤就業	
18:30	帰宅	
19:00	入浴	
20:00	夕食、夕飯片付け 子供の就寝準備	
21:00	子供就寝、洗濯	
22:00	就寝	自由時間

